

「平成 17 年度 病院経営調査報告」概 要

全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会

- 全日本病院協会は、平成 5 年より病院経営調査を行っている。客体病院は 500 で、回答病院 265 (53.0%) であった。
- 病床数は、一般病床 27,709 床、療養病床 13,417 床 (うち介護保険 4,298 床)、精神病床 6,578 床 (うち介護保険 78 床) などであった。
- 全体の医業収支率は 104.4 (平成 16 年 102.8)、総収支率は 104.1 (平成 16 年 102.5) と若干改善していた。
しかし東京では、医業収支率 (101.0)、総収支率 (101.2) と経営状態が悪い。
- 医業収支の赤字病院は全体で 23% (平成 16 年 24%) であり、昨年とほぼ変わらない。東京では、同赤字病院は 47% (平成 16 年 40%) であった。全体では収支が改善の傾向はあるが、赤字病院は増加していることが伺われた。
- 一般病床は、医業収支率 102.7%、総収支率 102.7%と、他の病床種別と比較して経営状態が悪い。
- 平成 16 年と平成 17 年の 2 年連続で回答のあった 198 病院の比較では、大きな変化は認めなかったが、外来患者数は減少傾向を認めた。
- 平成 17 年度は診療報酬改定がなく、昨年に比較し経営状態は安定していた。各病院の収支改善に対する努力の結果と考えられる。